

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2009～2013

課題番号：21401009

研究課題名(和文) 社会運動と開発：南アジアにおける事例研究を通して

研究課題名(英文) Development and Social Movements: Through case studies in South Asia

研究代表者

藤倉 達郎 (FUJIKURA, Tatsuro)

京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授

研究者番号：80419449

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 7,400,000円、(間接経費) 2,220,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、南アジア地域において、搾取や差別に対する闘いや農村の過疎化・疲弊に対抗して始まった社会運動の事例研究を行うことにより、自由化やグローバル化の中で急速に変貌する現代南アジア農村部の変容過程に光をあてるとともに、「第三世界」における社会運動と開発についての新たな分析視点の構築に貢献することを目的とした。アクター・ネットワーク論などをはじめとする様々な方法論についての議論をおこない、日本の社会運動の事例も検討しつつその有効性を検討した。

研究成果の概要(英文)：In this study, we examined variety of social movements against exclusion and deprivation in order to shed light on the dynamics of rapid changes occurring in rural South Asia under the condition of globalization, as well as to construct a new analytic perspective on social movements and development in the Third World. Through a series of seminars we discussed and evaluated strengths and limitations of various analytic tools, including those provided by Actor-Network Theory, examining their utility not only for understanding South Asian cases but also for Japanese cases.

研究分野：地域研究

科研費の分科・細目：地域研究

キーワード：ネパール インド スリランカ 社会運動 アクター・ネットワーク理論

## 1. 研究開始当初の背景

研究代表者と分担者は 1990 年代から、それぞれに開発現象の人類学という問題設定について考えてきた。1990 年代の人類学において開発への「言説アプローチ」のもとに重要な批判的研究が行われたが、やがてそれらの限界も明らかになってきた。言説アプローチの主唱者のひとりであるエスコバールは、「開発言説から自由になり、社会運動に参加すること」を唱えていた。しかし研究代表者らはエスコバールのように開発と社会運動を峻別し、二者択一を迫るという問題構成に疑問を感じていた。そこで、社会運動自体を開発運動として捉えるという方向性を探ったのである。

## 2. 研究の目的

本研究は、南アジア地域において、搾取や差別に対する闘いや農村の過疎化・疲弊に対抗して始まった社会運動の事例研究を行うことにより、自由化やグローバル化の中で急速に変貌する現代南アジア農村部の変容過程に光をあてるとともに、「第三世界」における社会運動と開発についての新たな分析視点の構築に貢献することを目的としている。ネパールにおける債務農業労働者の解放運動と南インドのダリト(被差別カースト)の地位向上運動を中心的な事例としつつ、バングラデシュの農村の疲弊と過疎化に対抗する農業改革と伝統保持の運動等を比較事例として研究し南アジア地域の社会運動の固有性と多様性をとらえることをひとつの目的とする。またさらに日本の水俣学研究者らとの議論を通して、事例研究にとどまらない、社会運動と開発についての広い比較の視座構築の可能性を探る。

## 3. 研究の方法

本研究では、社会運動や開発実践のいとなみを、多面的で多声的な過程として記述・分析することをめざし、その方法の一つとして、プロセス・ドキュメンテーションというアプローチを用いる (Mosse 2004; 足立 2005)。これは、出来上がった結果としての社会運動や開発から遡及するのではなく、できあがりつつある過程からそれらを記述し、読み解こうとする姿勢であり、そのための記述手法を追求するものである。ここでは、民族誌的な要素を取り入れた、時系列での詳細な記述を前提としつつ、さまざまなアクターによる多様な解釈や交渉・競合をとらえることになる。本研究においては、現地の研究協力者による継続的なドキュメンテーションも行う。本研究の研究代表者および分担者はそれぞれの地域での長年にわたる調査経験を持ち、それぞれの運動の主体と、すでに強い信頼関係を

築いている。これらの経験と関係を土台として実証的事例研究の地域間比較を行うために、4 年間の研究期間をとおして、以下のよな 4 つの作業を行うことになる：

- (1) 国内の研究会において、分析枠組とプロセス・ドキュメンテーションを含む調査方法についての検討を行う。
- (2) 現地調査と現地研究協力者との連携にもとづく各事例の研究。
- (3) 各調査地で研究代表者・分担者全員による合同調査及び研究会を行い、相互の事例についての理解を深める。
- (4) それぞれの事例研究をつきあわせ、社会運動と開発についての地域間比較を行い、その双方を論じるための新しい分析枠組を提示する。

## 4. 研究成果

初年度には、各分担者がそれぞれの担当の事例についての臨地調査を行った他、社会運動と開発をとらえる新しい視点を構築するために関連のある先行研究(特に権利論、科学技術論、歴史社会学)についての文献レビューと議論を行った。第二年度目においては、各事例についての臨地調査を継続する他、水俣学研究との対話を行うことなどを通してより普遍性と柔軟性のある、分析記述言語を探索した。理論的動向としては、とくに教育学における、文化活動理論(エンゲストロームら)や、アクター・ネットワーク理論と政治理論の架橋を巡る論考を参照しながら議論を行った。

第三年度目はとくにネパールにおける債務農業労働者解放運動の展開とタルー人の自治州要求運動、南インドにおけるダリトの儀礼実践を中心的な事例として検討した。これらの事例をめぐる、社会的事実を「動き」や「アッサンプラージュ」という視点からとらえることの有効性について議論した。また「人権」や「民族自治」、「主体性」や「アイデンティティ」といった概念を動員し、人口統計や地図などの統治技術に積極的に関与しつつ行われる社会運動に対する、Latourらの言うネットワークや subscription 等の概念の有効性を検討した。これらについて代表者がネパールのカトマンズにおける国際学会で発表し、研究者や民族主義運動の当事者と議論を行った。またこれら「民族」や「カースト」といったアイデンティティの構成やそれをめぐる事例についての論議をすすめる一方で、ネパールにおけるコミュニティ・フォレストリーおよび「森林使用者組合」(forest user-group)にも着目して、民族やカースト・アイデンティティではなく、森林という再生可能資源を核とした集団性の構築やそこにおける小規模で土地に密着した民主制のあり方や、包摂と排除をめぐる動態を探索した。さらには、各分担者が日本の公

害、軍事基地、原子力や震災復興をめぐる事例を検討し、南アジアの事例と比較しつつ、それら双方の理解に資する方法論的視座の構築に努めた。

これらの調査と議論の積み重ねを通して、社会運動と開発の研究における、プロセス・ドキュメンテーションやアクター・ネットワーク論などによって提案されてきたさまざまな概念や方法の有効性や、現時点での限界が明らかになってきた。これらの事例研究や方法論的議論の成果は『アジア・アフリカ地域研究』13巻2号(2014)における特集をはじめとする、以下のようなかたちで公表された。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計10件)

内山田康、「異なるスケール、乖離した言葉、隠れたアクター、縫れ」、『アジア・アフリカ地域研究』、査読有、13巻2号、2014、148-173

藤倉達郎、「特集にあたって 足立明と「非近代」の地域研究」、『アジア・アフリカ地域研究』、査読有、13巻2号、2014、101-111

内山田康、「3.11の問い」歴史人類、査読無、41巻、2013、121-137.

Frederick Errington, Tatsuro Fujikura, Deborah Gewertz. "Instant Noodles as an Antifriction Device: Making the BOP with PPP in PNG." *American Anthropologist* 114(1):19-31, 査読有, 2012.

内山田康「アッサンブラージュを人類学する」『文化人類学』76巻1号1-10頁。(査読有)、2011

内山田康「チェラッタマンは誰か?: 関係的神性、本質的神性、変態する存在者」『文化人類学』76巻1号53-76頁。(査読有)、2011

[学会発表](計16件)

藤倉達郎、「Communities and the Constitution of the Public in Contemporary Nepal」、Himalayan Studies Conference, 2014年3月15日、Yale University

藤倉達郎、「The Constitution of the Political Objects in Contemporary Nepal」International Union of Anthropological and Ethnological Sciences, 2014年5月16日、幕張メッセ

藤倉達郎、「ネパールの政治を人類学的に把握すること」、現代インド・南アジアセミナー、2013年9月23日、東京外国語大学府中キャンパス

藤倉達郎、「Substance-code 再考」、筑波人類学ワークショップ、2013年8月2日、筑波大学館山研修所

藤倉達郎、「南アジアの中で「運動」を考える」KINDAS研究グループ1:第2回定例研究会、2012年6月16日、京都大学。

内山田康、「3.11の問い」ICU哲学研究会、2012年3月3日、ICUダイアログ国際会議室  
Tatsuro Fujikura, The Role of Non-State Agents in the Decentralization of Forest Resource Management in Nepal, International Workshop on "Incentive of Local Community for REDD and Semi-domestication of Non-timber Forest Products", 2013年1月26日 Kyoto University.

Tatsuro Fujikura, Three Aspects of Community among the Tharus of Western Nepal. International Seminar on "Recreating Communities in a Globalized Setting" 2012年11月24日 Kyoto University

Tatsuro Fujikura, Community Participation in Forest Management and Utilization of Non-Timber Forest Products: Cases from Nepal, International Workshop on Incentive of Local Community for REDD, 5<sup>th</sup> March 2011, Kyoto University

Tatsuro Fujikura, Political Mobilizations, Spatiality, and the Production of Locality in Western Nepal. International Conference on Changing Dynamics of Nepali Society and Politics organised by Alliance for Social Dialogue, Association for Nepal and Himalayan Studies and Social Science Baha, 2011年8月18日 Shaker Hotel, Kathmandu.

藤倉達郎、「新しいネパール」とローカリティの生産、京都人類学研究会、2010年12月17日、京都大学

Tatsuro Fujikura, Federalism, Indigenesness, and the Production of Locality in Western Nepal, American Anthropological Association Meeting, 17<sup>th</sup> November 2010, Sheraton New Orleans.

藤倉達郎、「社会運動と開発: 南アジアにおける事例研究、ネパールの社会運動研究の地平から」水俣学研究センター第21回定例研究会、2010年6月18日、熊本学園大学

[図書](計15件)

藤倉達郎、*Discourses of Awareness: Development, Social Movements and the Practices of Freedom in Nepal*, Martin Chautari, 2013, 320, 査読有.

Frederick Errington, Tatsuro Fujikura, Deborah Gewertz, *The Noodle Narratives: The Global Rise of an Industrial Food into*

*the Twenty-First Century*. Berkeley: University of California Press, 2013, 200. 査読無.

Tatsuro Fujikura, The Role of Non-State Agents in the Decentralization of Forest Resource Management in Nepal, In K. Ishimaru and S. Kobayashi eds. The Proceedings of the International Workshop on 'Incentive of Local Community for REDD and Semi-domestication of Non-timber Forest Products. Secretariat of the International Workshop on "Incentive of Local Community for REDD and Semi-domestication of Non-timber Forest Products", Kyoto University 2013, pp. 117-125 査読無

Tatsuro Fujikura, "Safeguarding the Access of Indigenous Communities to Forest Resources: Case Studies from Nepal in Light of REDD+" In Shigeo Kobayashi and Kanae Ishimaru eds. *The Proceedings of the International Workshop on "Incentive of Local Community for REDD and Semi-domestication of Non-timber Forest Products"*, pp.163-175. Secretariate of the International Workshop on "Incentive of Local Community for REDD and Semi-domestication of Non-timber Forest Products", 査読無, 2012.

藤倉達郎、「先住民」東長靖、石坂晋哉 (編)『持続型生存基盤論ハンドブック』p. 159、京都大学出版会、2012. 査読無.

Jagannath Adhikari and Tatsuro Fujikura, "Participatory forest management systems in Nepal and challenges to make them sustainable" In Shigeo Kobayashi and Kanae Ishimaru eds. The Proceedings of the International Workshop on "Incentive of Local Community for REDD and Semi-domestication of Non-timber Forest Products", pp.176-191, Secretariate of the International Workshop on "Incentive of Local Community for REDD and Semi-domestication of Non-timber Forest Products", Kyoto University, 2012. 査読無

TONAGA Yasushi, FUJIKURA Tatsuro, KINOSHITA Akiko and MARUYAMA Daisuke eds. Proceedings of the ITP International Symposium "New Horizon of the Interdisciplinary Approaches to Asian and African Area Studies" December 2-3, 2011 ASAFAS and CSEAS, Kyoto University. 査読無

藤倉達郎、「開発と社会運動」『南アジアを学ぶ人のために』田中雅一・田辺明生編 249-261 頁 (312 頁) 世界思想社、査読無、2010

足立明、「民族紛争」田中雅一・田辺明生

編『南アジア社会を学ぶ人のために』、世界思想社、208-217 (312 頁)、2010.

藤倉達郎、「国家なき社会」『文化人類学事典』日本文化人類学会編 530 - 533 頁丸善、査読無、2009

足立明、「人とモノのネットワーク モノを取りもどすこと」田中雅一編『フェティシズム論の系譜と展望』、京都大学学術出版会、175-193 頁、2009 年

〔産業財産権〕  
出願状況 (計 0 件)

名称 :  
発明者 :  
権利者 :  
種類 :  
番号 :  
出願年月日 :  
国内外の別 :

取得状況 (計 0 件)

名称 :  
発明者 :  
権利者 :  
種類 :  
番号 :  
取得年月日 :  
国内外の別 :

〔その他〕  
ホームページ等 該当なし

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

藤倉 達郎 (FUJIKURA, Tatsuro)  
京都大学・大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・教授  
研究者番号 : 80419449

### (2) 研究分担者

内山田 康 (UCHIYAMADA, Yasushi)  
筑波大学・人文社会科学部・教授  
研究者番号 : 50344841

足立 明 (ADACHI, Akira)  
京都大学・大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・教授  
研究者番号 : 90212513

### (3) 研究協力者

花田 昌宣 (HANADA, Masanori)  
熊本学園大学・社会福祉学部・教授  
研究者番号 : 30271456